

教育計画（学校運営に係る経営方針及び重点目標等）【抜粋】

Ⅰ. 学校経営の基本方針

変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代と称されるように、先行きが不透明で将来の予測が困難な未来社会を迎えようとする中、子どもたち自身が自分のよさや可能性を認識するとともに、他者を尊重し、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、子どもたちの資質・能力を育成することが求められている。

生活や社会の中から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出す力、これこそが学習指導要領において育成をめざすものである

学習指導要領に示された資質・能力の育成を進めるために、GIGAスクール構想により、枚方市においては一人1台のタブレット端末が貸与され、ICTも最大限活用しながら、学びを止めることなく子どもたちを誰一人取り残さず育成し、子どもたちの個性を最大限に生かす「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められている。そのような変化の中にあっても、子どもたちにとって安全・安心な居場所（心理的安全性）であり、いつも子どもたちの「笑顔があふれる学校づくり」に取り組む。

子どもたちが生涯を通じて自らの成長を図り、社会や環境の変化に主体的に対応できる能力の育成をめざし、「**深く考え 心豊かな 実践力のある たくましい子**」という求める子ども像を学校教育目標として、日々の教育活動に取り組んでいく。

本校の学校教育の推進にあたっては、日本国憲法、教育基本法や学校教育法等の諸法令、学習指導要領や教育振興基本計画等に示された国・府の理念や方針、市の方針である「枚方市教育大綱」を反映した「枚方市教育振興基本計画」「学校園の管理運営に関する指針」に基づき、知・徳・体の調和のとれた生きる力を育み、子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす学校教育を充実させる。その実現のため、チームさだ西小として、本校教職員が関係機関との連携を図りながら、協力し、年間計画等に基づいて、すべての教育活動について組織的に取り組みを推進する。

また、学校と保護者・地域が子どもたちに必要な資質・能力とは何かを共有して連携を図り、「社会に開かれた教育課程」の実現をめざして取組みを進めていく。

「夢と志を持ち、可能性に挑戦する“枚方のこども”の育成」 ～子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす枚方の教育～

（大綱の抜粋）

誰ひとり取り残さず、枚方市立学校園で学ぶすべての子どもたちが社会の大海原で自立して生きて行くことができるよう、集団生活や職業の体験、地域社会との関わりなど、社会で生きていくための準備の場として、学校だけでなく、様々な体験の場を提供し、生きる力を育み、未来への可能性をできる限り多く持たせ、社会に送り出してあげることを枚方市の学校教育の使命とし、“枚方のこども”を育成します。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 重点1 社会を生き抜く力の育成 | 重点2 豊かな心と健全な体の育成 |
| 重点3 誰一人取り残さない教育の実現 | 重点4 豊かな学びを支える学校園づくり |
| 重点5 遊びや学びの充実 | |

枚方市の教育理念（枚方市教育大綱より）

学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく ～個人と社会のウェルビーイングの実現をめざし、可能性を最大限に伸ばす～

枚方市教育委員会の教育目標（教育振興基本計画より）

「学校園の管理運営に関する指針」は別紙参照

2. 学校教育目標（めざす子ども像）

深く考え 心豊かな 実践力のある たくましい子

<めざす子ども像>

「深く考える子ども」……基礎基本の力を身につけ、すすんで学ぶ。

「心豊かな子ども」……自他ともに大切にし、協力し合う。

「実践力のある子ども」……自分で考え、判断し行動できる。

「たくましい子ども」……最後までねばり強く取り組む気力と体力を身につける。

めざす教師像

「子ども・保護者・地域の方々から信頼される教職員」

◎子どもに向き合い、寄り添う教職員 ◎学び続ける教職員

◎高い倫理観や規範意識、人権意識を持った教職員

◎チームさだ西小として取り組む教職員 ◎心身ともに健康で明るい教職員

めざす学校像

ウェル・ビーイングな学校

◎「やってみよう!」「ありがとう!」「なんとかなる!」「ありのままに!」を合言葉に、子どもたち・教職員が
ウェル・ビーイングになることをめざす。

※ウェル・ビーイングとは

・身体的・精神的・社会的に良い状態にあること

・短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福

獲得的幸福（自尊感情 自己効力感：個人が獲得・達成する能力や状態に基づく要素）と協調的幸福（利他性、協働性、社会貢献意識：人とのつながり・関係性に基づく要素）を調和的・一体的にはぐくむ。

3. 本年度の重点目標・取組方針・具体的な取組

重点目標

「笑顔あふれる 学ぶ喜びにあふれる 信頼される学校」

取組方針

学習指導要領において、「育成をめざす資質・能力」について、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」の三つの柱に整理し、偏りなく育成をめざすことが示されている。新しい時代を生きる子どもたちに必要な3つの力をバランスよく育み、社会に出てからも学校で学んだことが生かせるように指導、支援していくことが必要不可欠である。

その「育成すべき資質・能力」及び、「令和の日本型教育」のなかで示された「2030年及びその先の社会を生き抜く人間の姿」は、本校の教育目標「深く考え 心豊かな 実践力のある たくましい子」の育成あたる具体的なめざす子ども像と合致している。

その学校教育目標の具現化のため、まず、すべての子どもたち、教職員が、「笑顔があふれる 学ぶ喜びにあふれる」学校づくりをめざす。そのための具体的な取組として、以下の20項目を重点項目（学校園の管理運営に関する指針基本方策1～10より重点項目）とする。そのことにより、子どもたち、保護者、地域の方々から「信頼される学校」になると考える。

具体的な取組

（基本方策1 確かな学力と自立をはぐくむ教育の充実）

- 1. カリキュラム・マネジメントの充実
- 2. 学力向上の取組の推進
- 3. 社会とつながる学習活動の推進
- 4. 小中一貫教育の推進

（基本方策2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の充実）

- 5. 人権教育の推進
- 6. 食育の推進
- 7. 体力の向上
- 8. 特別活動・その他教育活動の取組

（基本方策3 教職員の資質と指導力の向上）【（基本方策1 確かな学力と自立をはぐくむ教育の充実）を含む】

- 9. 校内研究等の充実
- 10. 教職員の資質能力の向上
- 11. 服務規律の徹底
- 12. 働き方改革の推進

（基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実）【（基本方策2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の充実）を含む】

- 13. 支援教育の充実

（基本方策5 幼児教育の充実）【（基本方策1 確かな学力と自立をはぐくむ教育の充実）を含む】

- 14. 架け橋プログラムの推進

（基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進）【（基本方策1 確かな学力と自立をはぐくむ教育の充実）を含む】

- 15. 学校評価活動の適切な実施

（基本方策7 学びのセーフティネットの構築）

- 16. 生徒指導体制の構築
- 17. 学校の安全確保に向けた組織体制の構築

（基本方策8 学びを支える教育環境の充実）【（基本方策1 確かな学力と自立をはぐくむ教育の充実）を含む】

- 18. ICTの効果的な活用

（基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実）【（基本方策1 確かな学力と自立をはぐくむ教育の充実）を含む】

- 19. 学校図書館の活性化

（基本方策10 文化・スポーツなどの障害を豊かにする体験活動の充実）【（基本方策1 確かな学力と自立をはぐくむ教育の充実）（基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進）を含む】

- 20. 「社会に開かれた教育課程」の実現

くさだ西小学校 本年度の重点目標における具体的方策>

めざす学校像

ウェル・ビーイングな学校

◎「やってみよう!」「ありがとう!」「なんとかなる!」「ありのままに!」を合言葉に、子どもたち・教職員・保護者・地域の方々がウェル・ビーイングになることをめざす。

めざす教師像

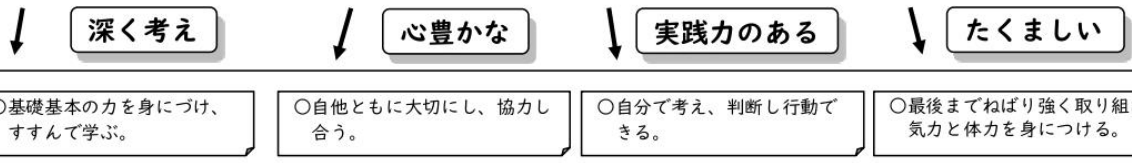
「子ども・保護者・地域の方々から信頼される教職員」
◎子どもに向き合い、寄り添う教職員
◎学び続ける教職員
◎高い倫理観や規範意識、人権意識を持った教職員
◎チームさだ西小として取り組む教職員
◎心身ともに健康で明るい教職員

〔学校教育目標〕 深く考え 心豊かな 実践力のある たくましい子

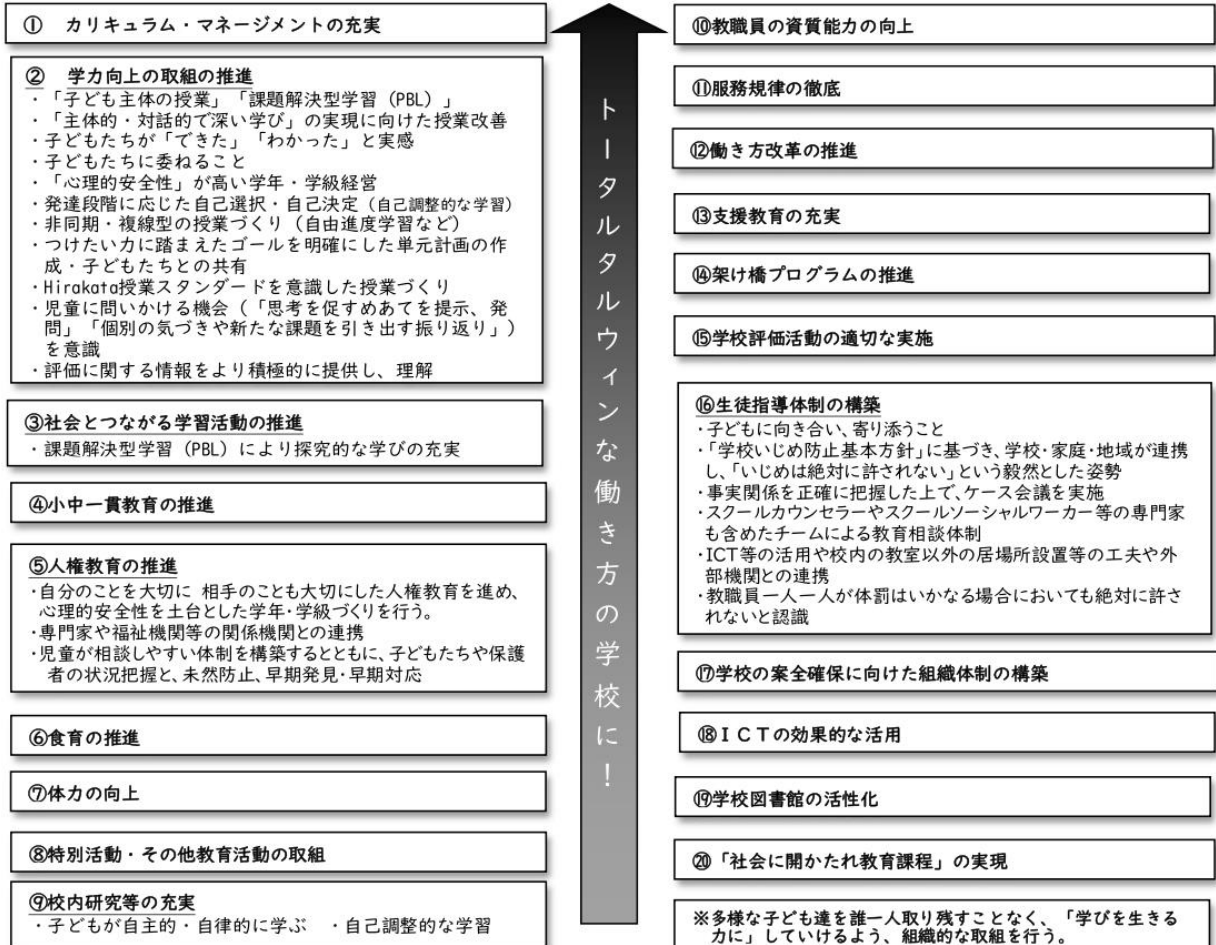
本年度 重点目標「笑顔あふれる 学ぶ喜びにあふれる 信頼される学校」

「育成すべき資質・能力」及び、「2030年及びその先の社会を生き抜く人間の姿」は、本校の教育目標「深く考え 心豊かな 実践力のある たくましい子」の育成にあたる具体的なめざす子ども像と合致している。

学校教育目標の具現化のため、まず、すべての子どもたち、教職員が、「笑顔あふれる 学ぶ喜びにあふれる」学校づくりをめざす。具体的に、以下の20項目を重点項目とする。そのことにより、子どもたち、保護者、地域の方々から「信頼される学校」になると考える。



重点目標への具体的な取組



※ウェル・ビーイングとは、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあること」「短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福獲得の幸福（自尊心 自己効力感：個人が獲得・達成する能力や状態に基づく要素）と協調的（利他性、協働性、社会貢献意識：人とのつながり・関係性に基づく要素）を調和的・一体的にはぐくむ。